

(平成28年 9月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	<p>9月の水産物は、台風に加えて、秋雨前線が長く停滞したことにより、漁獲量が低下した。</p> <p>そのため、9月の総入荷量は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚、加工水産物の全てで入荷量が下回り、全体として5%下回った。</p> <p>取扱金額は、前年同月に比べると鮮魚、冷凍魚は前年並みとなったが、加工水産物が減少し、全体として2%下回った。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>9月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ4%下回ったことから、平均単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、よこわ、天然まだい、すずき等が好漁で入荷が上回ったため、価格は値下がりした。あまだい、ひらめ、するめいか等は漁獲の減少により入荷が下回ったため、価格は値上がりした。</p> <p>10月後半には、さんま漁が終盤となるが、今期の型は小型サイズが中心であり、2年連続の不漁となりそうである。さばも秋さばの時期となり、これから冬に向けて旬となるが、資源量が減少傾向にあり、低調な漁が予想される。旬のかますは順調な入荷が続いており、塩焼き、刺身等による料理がお勧めである。</p>
冷 凍 魚	<p>9月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ4%下回ったことから、平均単価は5%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷あかえびの価格はほぼ前年並みだったが、入荷は上回った。海外養殖えびは価格が値上がりとなったため、入荷は下回った。</p> <p>10月も冷えびはブラックタイガー種の値上がりが続く見込みである。アメリカ産（ブリストル湾）さけ漁は、今年も昨年に続き好調な漁獲となったが、海外の需要が強く日本向けは、前年並みか、前年より少なくなる見込みである。</p>

<p>加 工 水 産 物</p>	<p>9月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ9%下回ったが、平均単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、塩さんま、開干さんま、すけそうこ、干水かれいは入荷が大きく減少したため、価格は値上がりとなった。開干あじは、入荷が上回ったことから、価格は値下がりした。塩銀さけは若干の値上がりとなったが、需要が強く入荷は上回った。</p> <p>10月は、秋の味覚である新物塩さんまの入荷が最後となるが、9月後半から小型サイズを中心に入荷が増えてきている。また、旬を迎える開干かます、塩さばに加え、入荷の増えてくる干かれい等が美味しい季節となる。</p> <p>11月には、日本海かに漁が解禁となり、冬の味覚までもう少しである。</p>
------------------	--

※生鮮魚：鮮魚，貝類，淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	山口，静岡で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ５％下回ったため，価格は１％上回った。
ま い わ し	愛知，三重で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ９％上回ったが，他の青物魚の漁獲が低調であったことから需要が伸び，価格は５％上回った。
さ ば	三重，韓国で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ１７％下回ったが，小型サイズが多かったため，価格は１１％下回った。
す る め い か	青森，岩手で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ５３％下回ったため，価格は３５％上回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ本まぐろが１５％上回ったが，めばちまぐろは１３％，きはだまぐろは１９％下回ったことから，太物類の総入荷量は前年同月と比べ６％下回ったため，価格は８％上回った。
よ こ わ	長崎，青森で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ１６７％上回ったため，価格は４８％下回った。
さ わ ら	鳥取，大阪で水揚げされたものの主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ２０％下回ったため，価格は２５％上回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ４％下回ったため，価格は３％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ１４％下回ったため，価格は３１％上回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ ば	入荷量は前年同月と比べ１０％下回ったため，価格は４％上回った。

塩　　さ　　ん　　ま	北海道産の入荷で，入荷量は前年同月と比べ１９％下回ったため 価格は４０％上回った。
------------	--